200 案件以上外注して築いた外注化マニュアル×ライター様との上手な付き合い方～WordPress直接外注編～

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。

できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。

(無料) https://get.adobe.com/jp/reader/

◆著作権について

当レポートは、著作権法で保護されている著作物です。 使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

◇レポートの著作権は、作者にあります。作者の書面による事前許可なく、本レポートの一部、または全部をインターネット上に公開すること、およびオークションサイトなどで転売することを禁じます。

◇本レポートの一部、または全部をあらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、およびその他電子メディアなど)により複製、流用および転載することを禁じます。

◆使用許諾契約書

本契約は、レポートダウンロードした法人・個人(以下、甲とする)と作者(以下、乙とする)との間で合意した契約です。本レポートを甲が受けとることで、甲はこの契約は成立します。

第 1 条(目的)本契約は、本レポートに含まれる情報を、本契約に基づき、甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第 2 条(第三者への公開の禁止)本レポートに含まれる情報は、著作権法によって保護されています。また、本レポートの内容は、秘匿性の高い内容であり、甲はその情報を乙との書面による事前許可を得ずにいかなる第三者にも公開することを禁じます。

第 3 条(損害賠償)甲が本契約の第 2 条の規定に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、違約金として、違反件数と金壱萬円を乗じた価格の 10 倍の金額を支払うものとします。

第 4 条(その他) 当レポートに沿って実行、期待通りの効果を得ることができず、万一如何なる損益が生じた場合でも、乙は甲に対して責任を負わないものとする。

Copyright(C) れん All Right Reserved.）

もくじ

WordPressに入れても貰い始める時期の目安は？ 5
WordPressにお願いする時にどれくらい単価を上げる？ 7
【必読！】WordPressにお願いする時の注意点！ 9
WordPressにお願いするためのノウハウ！ 11
ライターさん用のWordPressアカウント 12
ライターさん用のWordPressマニュアル 20
まとめ 22

Copyright(C) れん All Right Reserved.）

ある程度外注に慣れてきたらライターさんに、

テキストファイルではなく **WordPress に直接記事**

を作ってもらいましょう。

Word などで貰って自分で記事をアップ＆装飾をしても良いのですが、それだと意外と時間がかかってしまいますし二度手間です。

ライターさんも WordPress に慣れてくるとネタ選定以外のこちらの手間がほぼ無くなりますし、1 記事 5 分ほどのチェックでコンテンツが作れるようになるのでここを目標に動いていきましょう。

ここでは、ライターさんに直接 WordPress に記事を作ってもらうときの流れや注意点などを説明していくのでぜひ取り入れてみてくださいね！

Copyright(C) れん All Right Reserved.）

WordPress に入れても貰い始める時期の目安は？

WordPress に入れても貰い始める時期は

「ライターさんが可もなく不可もない記事」が書けるようになったころがおすすめです。

どういうことかと言うと、

最低限こちらの要求が満たされている状態です。

イメージ的には軽く言い回しくらいを書き直せば、こちらの思っている **7~8 割のクオリティの記事**が上がるくらいですね。

Copyright(C) れん All Right Reserved.）

例えばタイトルと見出しを渡したときに必要情報をしっかり書いてくれて、なおかつ情報が無い時は相談してくれたり、情報が無い時の書き方ができたり。

特にライティングスキルが高かったり、100 点のクオリティの記事を上げてから WordPress に任せる必要はありません。

ただし、初めから WordPress での納品経験が豊富なライターさんで、信用できそうな場合は初めからお願いしてみるのもアリです。

このあたりのさじ加減が難しい・・・という方は僕に聞いてくださいね！

Copyright(C) れん All Right Reserved.）

WordPress にお願いする時にどれくらい単価を上げる？

元々テキストファイルでお願いしていて途中から WordPress に変える時は、そのタイミングで単価アップを伝えましょう。

伝え方は

「単価をアップするから WordPress にチャレンジしてみませんか？操作は非常に簡単ですし、初心者でもすぐ覚えられるマニュアルを用意しているので安心です。」

Copyright(C) れん All Right Reserved.）

という感じです。

単価は**文字単価 0.1 円ほどアップさせれば**問題ないかな、と思います。

もし文字単価 0.3 円なら 0.4 円、

0.3 円から開始してすでに 0.35 円に単価を上げていた状態なら、0.45 円ですね。

おおよそ個人的な相場感は WordPress までお願いして、7 割～8 割のクオリティの記事が作れて、文字単価 0.45 円くらいかなと思います。

Copyright(C) れん All Right Reserved.）

【必読！】WordPress にお願いする時の注意点！

WordPress に直接打ち込んでもらうということは、**あなたのブログ ID** を渡すことになります。

なので、後述しますが**必ずライターさんの専用 ID とパスワードを作って渡してください。**

もし自分の管理者 ID を渡してしまうと、最悪ブログ内のコンテンツを削除されることも想定されます。

Copyright(C) れん All Right Reserved.）

また自分のブログを教えることになるので、相手のメッセージのやり取りをしてみて**信用できなさそうな場合は、まずはテキストファイルでの納品にしていた方が無難です。**

また気になる方はライターさんに

「自分のブログは他人に公開しないでください」と伝えておくのもおすすめです。

たまにお仕事に応募してきたライターさんが、自分の書いた参考記事ということで過去に自分が担当した方のブログ URL を勝手に張り付けて来る時があるので注意です。

Copyright(C) れん All Right Reserved.）

WordPress にお願いするためのノウハウ！

注意点をお伝えしたところで、WordPress にコンテンツを入れてもらう時に必要なことを紹介していきます。

最低限必要なものは以下の通りです。

・ライターさん用の WordPress アカウント

・ライターさん用の WordPress マニュアル

一つずつ説明していきますね。

Copyright(C) れん All Right Reserved.）

ライターさん用の WordPress アカウント

■まず必要なのが先ほどお伝えした通り

「ライターさん用の WordPress アカウント」の作成が必要です。

実は WordPress にはログイン ID ごとに以下の種類の権限があります。

・管理者：WordPress の全ての機能を操作できる。

・編集者：コメントやカテゴリー管理などコンテンツに関する全ての操作が可能。

Copyright(C) れん All Right Reserved.）

・投稿者：記事の投稿や編集、公開のみ。

・寄稿者：記事の下書きと編集のみ。

・購読者：閲覧のみできる。会員制サイトなどに使用

みなさんは普段「管理者」という一番上の権限でWordPressを利用しているので普段は感じないと思いますが、**下の権限だとさまざまな作業が制限されます。**

各権限とできる作業は以下の通りです。

Copyright(C) れん All Right Reserved.）

WordPressの権限	管理者	編集者	投稿者	寄稿者	購読者
テーマの変更や編集					
プラグインの設定					
各種設定の編集					
コメントの承認					
既存の記事の編集					
カテゴリーの管理					
メディアライブラリの管理					
新規記事の投稿					
新規記事の作成や編集					
閲覧					

例えば寄稿者であれば記事の更新ボタンは押せませんが、投稿者なら押せます。

メディアライブラリ（画像）を管理できるので、ライターさんに**投稿者 ID を渡すか寄稿者 ID を渡すかが最大の悩みどころですが、**初めは寄稿者からやっ

Copyright(C) れん All Right Reserved.）

てもらって、慣れたら投稿者をお願いしても良いですね。

■それでは次にライターさん用の権限の作り方を画像付きで説明していきます。

今回は「寄稿者」のアカウントを作っていきますが、他のアカウントも作り方はおおむね一緒です。

■まずは WordPress ダッシュボードの左サイドバーの、「ユーザー⇒新規追加」をクリック。

Copyright(C) れん All Right Reserved.）

■必要事項を記入します。

Copyright(C) れん All Right Reserved.)

メールアドレスは自分の捨てアカウントを登録しておけば大丈夫です。

※パスワードとユーザー名を忘れないように。

■必要項目が記入できたら**「新規ユーザーを追加」**をクリック。

作成できたことが確認できます。

■ちなみに作成したユーザーは、

Copyright(C) れん All Right Reserved.)

ダッシュボード左サイドバーの**「ユーザー⇒ユーザー一覧」**からも確認できます。

■一応 WordPress の管理画面の色も変えられるので、いつものカラーに飽きた人はぜひ。

■あとは先ほど控えたユーザー名とパスワードを使っていつものログイン画面から入ると、**作成したアカウントでのログイン状態になります。**

Copyright(C) れん All Right Reserved.）

つまりこのユーザーID とパスワードをライターさんに渡せば、彼らは作業できることになります。

※いつもパスワードをオートコンプリート（自動入力）にしている人は、

間違って上書きした時のためにも、もう一度今までログインしていた管理者用パスワードと ID をチェックしてメモしておきましょう。

（次のページへ）

Copyright(C) れん All Right Reserved.）

ライターさん用の WordPress マニュアル

アカウントが準備できたら、次はライターさんへ**WordPress の使い方をレクチャー**しなければいけません。

初めから使えるライターさんなら良いのですが、テキストファイルでしか納品したことが無い人もいるのでマニュアルを作っておくことをおすすめします。

マニュアルに最低限含めなければならないのは以下の通りです。

Copyright(C) れん All Right Reserved.）

・見出し作成や文字の装飾機能の使い方

・SNS や youtube の埋め込み方マニュアル

こちらは特典の付録として、ライターさんにお渡しするマニュアルテンプレートを word ファイルの形でプレゼントするので、あとは自由に追記したり PDF にしたりして、使ってもらって結構です。

専用のブログを 1 個作って、そこにマニュアルコンテンツを入れてあとはライターさんに URL を渡すだけ・・・というのも楽でよいですね。（僕は、今はそうしています。）

もちろんオリジナルがある人はそれを優先して使ってくださいね。

Copyright(C) れん All Right Reserved.）

まとめ

というわけで、今回はライターさんに WordPress へ直接記事を作ってもらうためのノウハウをお伝えしてきました。

難しそうに思えても、やってしまえば意外と簡単だったりします。

信用できるライターさんができたら積極的にお願いしてみましょう！

Copyright(C) れん All Right Reserved.）